

平成 31(2019)年 3月 5日 第 10 号 葉山町立上山口小学校 校長 冨樫 俊夫 TEL 046-878-7529

早いもので、学校は年度末を迎えます。学校全体で卒業式に向けての計画や準備が進められています。6年生にとっては中学校への旅立ちに向け最後のまとめの日々であり、在校生にとっては、新たな学年へ進級する心の準備の日々となります。2月20日に行われた「たてわりお別れ会」では、今まで中心となっていた6年生に代わり5年生が中心となり下級生と協力して、今までお世話になった6年生へ感謝の気持ちを込めて精一杯頑張っていました。4月から自分たち5年生が最高学年になるという意識を持つ大切な行事でもありますが、準備から当日まで新たなリーダーとして大変立派に見えました。

3月の予定

- 1日(金) 6年お別れ遠足
- 5日(火) 委員会活動(4年生 5時間) ふたばっ子文庫 昼公演
- 7日(木) 児童朝会
- 8日(金) 卒業式全校練習
- 11日(月) 中学校卒業式
- 12日(火) 卒業式全校練習
- 13日(水) 安全と命を考える日 スクールカウンセラー来校日
- 14日(木) 朝会
- ■15日(金) 卒業式予行練習(全校 5時間)
- ▶18日(月) 給食終了(お楽しみ献立) 短縮4時間
- ▶19日(火) 短縮3時間授業
- 【20日(水) 卒業式 3校時下校
- | 22日(金) 卒業式片付け 短縮3時間
 - 25日(月) 修了式 短縮3時間

4月の主な予定

- 5日(金) 1学期始業式・入学式
 - ~9日(火) 短縮3時間
- 8日(月) 離退任式
- 【10日(水) 2年生以上給食開始 短縮4時間
- 11日(木) 2年生以上通常授業
 - 12日(金) 1年生懇談会
 - 17日(月) 1年生給食開始
 - 18日(木) 全国学力・学習状況調査(6年生)

※ 4月の予定は、一部変更になることがあります。最終的には4月の学校だよりを ご覧ください。





◆ ◆ 中学校と連携した英語の授業 ◆ ◆

2月27日(水)6年生を対象に、葉山中学校英語科の内藤先生による英語の授業を行い

ました。普段は学級担任とミラー先生が授業を進めていますが、この日は、中学校の先生の授業ということもあり最初少し緊張していましたが、内藤先生が子どもたちの気持ちを考えながら楽しく授業を進めて下さったこともあり、積極的に一生懸命取り組んでいました。授業の内容は、中学校でどのクラブに入りたいかという質問をし、入りたいクラブを答えるということを英語で質問し英語で答えるというものです。"What club do you want to join?" "I



want to join (the ・・・ team). "子どもたちはクラス全員とこの繰り返しをし、この表現を覚えていました。文法から入るのではなく耳から英文を聞き、この表現を繰り返し使



えるようにすることがねらいです。これからの英語は、このようにたくさんの表現を耳から聞き、口に出して使いながら自然と身に着けていくことが大切だと思います。これは、小さな子が言葉を習得していくのと似ていますね。

また、この日の内藤先生の授業の前日に、葉山中学校の生徒が部活紹介を英語でしているビデオを活用した授業を学級担任が実施しています。どんなクラブがあり、メンバーが何人で、活動日は何曜日といった内容です。このように小学

校と中学校が連携した授業をすることで、少しでも小学校から中学校へ連続した学びとなるよう取り組んでいます。

葉山町では、義務教育9年間を見通した育てたい葉山の子ども像として「多様性を認めあい 夢の実現に向かって 主体的に学び続ける子ども」(葉山町教育委員会のホームページに詳細が掲載されております。)を掲げています。本校でもこのことを根底におき、教育目標を定めております。これからの子どもたちが、「共によりよく学び、願いを実現し、よりよい社会で生きていける」力をつけていけるよう学校としても努力していきたいと考えております。

◆ ◆ ふたばっこ文庫 最終公演 1年間ありがとうございました。 ◆

本日5日、PTA有志によるふたばっこ文庫読み聞かせの最終公演が昼休みにありました。今年は、「あらしのよるに」をシリーズで読み聞かせをしていただきました。これまでこの読み聞かせでは、涙があふれ出てしまう子もいました。内容はご存知の方もいらっしゃるとは思いますが、この物語は、オオカミとヤギがあらしの夜に出会ってしだいに友情を深めていきますが、仲間から裏切りと言わ





れ2匹(2人)は仲間から外れて逃げることとしますが、・・・・。そして本日の最終公演は、「まんげつのよるに」でした。

この1年間、本校の子どもたちに、 読み聞かせを通して友達の本当の大 切さを伝えていただくとともに、多く の感動をとどけて下さったふたばっ こ文庫の方々に感謝申し上げます。